

タイトル～<「2018年・2019年」の遊技機動向を断言予想！>

■【2018年】の遊技機動向～全体論。

結果論として…『2017年と、何も変わらない』。無論「現行規則に則っての遊技機スペック」となります。

よって、『来年の計画が立てられない』などと言う事は全く無く、**営業計画の立て方は、「今年と同様」となります。**

しかしながら、「何も変わらない」と言う事は、ある意味、『現在の稼働推移も変わらない』と言う事に繋がりますね(汗
戦略も戦術も、何かを変えないと、「集客・売上・粗利・稼働」の4要素共に低下してしまう』と言う事にもなりますね。
営業戦略論の話は、今回はさておいて、「年度・カテゴリー別・遊技機動向について」具体的に予測してみましょう。

■【2018年】の遊技機動向～パチンコ編。

<前半>…

当然ながら、**現行規則に準じたスペック**ですから、確変は「最大65%継続」・**最大出玉は「2,400個Ver機」**です。

まあ『新規則機になったら…』とか、考える必要性も、論じる必要性も、全く不要です。そもそも、「新規則機は、2018年2月以降に保通協申請をする」訳ですが、メーカーとしての現在の**優先事項は、「1月31日までに、現行スペックの保通協検査の持ち込みをしたい！」**し、『**いっぱい検定通したい！」**訳です。つまり、新規則機の開発は「後回し」とならざるを得ませんから(汗

【結果論】…逆に「2,400個機」のリリースが多くなる可能性が高い。ついでの「甘デジ追加リリース」は激減する。

<後半>…

2018年2月以降の保通協検査申請機は、「100%新規則スペック」となりますので、仮に「2月1日に保通協適合検査の受理」が行われたら、新規則下でのスペックとなります。…まあ当然の事ですが、その機械はあるのだろうか？

まあ「あったとして」の話ですが、**保通協検査期間が「約3ヶ月間」と想定して、適合するのが4月末。**各公安委員会に**検定申請の準備をするのに「約2週間」、各警察の検定審査期間が「約2～3週間」。**よって、**型式検定年月日の最短日が【5月末頃】**になる計算。それからリリースの準備から「いざ販売」で、**結果的には「8月の導入」となりますね。**

しかし、新規則の最大の問題は、「**出玉=1,500規制**」では無く、**【大当たり=10R規制】**なので、最もその影響が小さいスペックとなると、『**結果的に、先ずは<甘デジ>を**』となる事は、想定が容易。

【結果論】…盆明けに「新規則甘デジの第1弾」がリリース。「新規則10R&1,500個ミドル第1弾」は年末頃に。

■【2018年】の遊技機動向～スロット編。

<前半>…

現状、「6号機基準(仕様)」についての『アナウンスは聞いていない』と、誰もが言っているところを見ると、メーカーは**『6号機開発は、まだ着手していない』。**つまり、メーカーは、**まだ「1月の保通協持ち込みの5.9号機開発」の段階。**

ちなみに、スロットの開発には「少なくとも1年」は必要。更に「+適合検査～検定～リリース」の期間が6か月は必要となると、『**2018年中は、5.9号機しかリリースされない**』事になる。無論『6号機が出たら…どうする？こうする！』なんて事を考える必要は「今は無い」し、ましてや論議する必要性も無い。それは、もっと先の時期になるだろう。

(※しかし、来年「2018年春頃」には、6号機の開発は必須となる。それは【2019年～スロット編】を読めば分かる。)

【結果論】…現状、集客&稼働不安だが、5.9号機オンリー(Aタイプ・A+ART)のリリースとなる。

<後半>・・・

メーカーのリリース自体は、前半と同じ流れとなる。つまり「5.9号機のみ」のリリースになる。

しかしこの時点での注意ポイントがある。それが「メーカーアナウンス」になる。<前半>記述でも触れたが、6号機の開発が始まっているはずなので、それなりの情報が漏れ出てくる。その情報には、『6号機はダメだ！しんどいよ！』と言うマイナスアナウンスも含まれる。その結果『もう最後の5.9号機。買っておかないと・・・』と言う思考性になる(笑)

【結果論】・・・不安な5.9号機の新機種。やっぱり「ジャグラーシリーズ(4機種)」の天下になるのか！？

■【2019年】の遊技機動向～パチンコ編。

<前半>・・・

基本は、「新規則機へ移行」が顕著に表れる事になる。おそらく「甘デジは全て新規則でのリリース」となるだろう。旧規則(=現規則)ミドル機の一部(増産販売含む)がある可能性はあるが、おそらくそれも、「1月末(規則改正の1年後)で販売終了となる」ものと私は思っている。

【結果論】・・・「大当り=最大10R」と言う仕様が、打ち手に映るのか？が最大の注目点になる。

<後半>・・・

新規則機での「ビッグコンテンツのリリース」が本格化する。遊技機単価は「税込50万円超え」時代となる。『全てのメーカーが、新規則の甘デジをリリース』って事は、ぼちぼち**【甘デジの「みなし機」の撤去】**を示唆になる。

【結果論】・・・本格的には「新規則機時代」到来。かつ、甘デジの新台幣入替が本格化する。

■【2019年】の遊技機動向～スロット編。

<前半>・・・

まだ「5.9号機リリース」となる。と言うか『6号機のリリースが全メーカー的には間に合わない』と言うのが現実。ただし、「6号機第1弾を、一応、世に出す可能性は高い」と思っている。当然「Aタイプ」になるだろうけど・・・

【結果論】・・・本当に、「最後の5.9号機・A+ART機」リリースになる。そして・・・後半から「6号機」時代突入へ。

<後半>・・・

このタイミングが、現パチンコ店における**【最大の問題】**である。つまり『**現行の高射幸性スロットの認定切れの始まり**』が待っている。代表的な機種で言うと「バジリスク～甲賀忍法帖～絆(推定6万台)」の認定切れ撤去が、10月から始まる事になる。その他の「2013年検定機」も、認定3年間の使用期間を経て、法的に撤去のタイミングとなる。

(※あくまでも、それまで「高射幸性機の自主的撤去が無いとして」の話ですからね。※詳しくは、またいずれ)
仮に、その時期「現在同様の170万台」のスロット機が現存している場合、「高射幸性機=30%」ならば、それに該当する台数は「約50万台」が存在している事になる。そしてそれは、**法的に『確実に撤去が始まる』**訳ですね(汗
(※代表的な**【市場TOP30機種】**のリスト(設置台数・納品日基準)は、**【2017年06月18日のコラム<スロット撤去問題の途中経過>】**を参照して見て下さい・・・※会員コラムからフリーコラムへ移行)

問題は、その「最低でも年内30万台」レベルの撤去の際、それを補うスロット台数が必要なのだが、それは『**基本的に新規則6号機**』となる訳で、メーカーも必ずその時は、『**必ず新機種リリースをする必要がある**』タイミングとなる。

【結果論】・・・8月頃には、「6号機の新台幣入替が真っ盛り！」となる。・・・でも実は・・・(以下自粛)・・・かも！？

<このコラムは、フリーコンテンツに該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください>
<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>

TKC～【法人セミナー】のご案内

「TK高橋の千里眼セミナー」ですが、基本的に「単一法人様での勉強会」となります。

各法人様の意向を踏まえ、内容はカスタマイズさせていただきます。

※組合様等の場合、内容にて摺り合せが必要な場合がございますので、ご相談させていただきます。

<日 時>:ご依頼会社様の希望とのご相談の上、決定させていただきます

<場 所>:ご依頼会社様にて、手配をお願い致します。

※関西エリアにおいては「大阪元町・スリーストーン大阪営業所」開催は可能(概ね15名まで)

<時 間>:「1日＝4～5時間」が基本となります。(休憩含む拘束時間です)

<費 用>:基本価格～「1日当り＝15万円」となります。(※只今、「TKC会員様＝10万円」となります)

<内 容>:ご依頼会社様とのご相談の上決定させていただきます。

※基本的に、「業界情報」・「パチンコ運用」・「店舗全体運営」の内容が中心となります。

<その他>:交通費(長野県長野市から)・宿泊費は別途請求となりますのでご了承くださいませ。

～<セミナーのカスタマイズ>について～

⇒【勉強会開催において、多岐に渡るセミナー内容を同時開催したい場合】等。

弊社内容の他、「スロット運用」・「マーケティング情報」等々、内容のご希望がありましたらご相談下さい。

同日(または別日)、別コンテンツの専門的講師の推薦紹介させて頂き、同時(別日)開催となります。

(※この場合、別途講師費用と諸経費が加算されますので、ご了承くださいませ)

<お問い合わせ>

弊社代表「高橋正人」まで、ご連絡下さいませ。

【メールアドレス】:info@tkc-g.jp

【電話連絡】:(会社)026-256-9677 (携帯)090-3063-1757

有限会社 トータル・ノウ・コネクションズ

住所:長野県長野市南堀530-5

TEL:026-256-9677 FAX:026-256-9688

ホームページ <http://www.tkc-g.jp>

メールアドレス info@tkc-g.jp
